

主催：開業臨床心理士協会

〒446-0031 愛知県安城市朝日町 2-1

【全体テーマ】「開業臨床にできること、できないこと - 心理臨床を極める」

公認心理師法が成立し、2年後には多種多様な心理職が「公認心理師」となります。国家資格ができた今後、心理臨床に携わっている私たちは社会からより厳しい眼差しにさらされ、その専門性や援助スキルの水準の真価を問われることになるでしょう。

私たちは、心理療法やカウンセリングのプロトタイプは開業心理臨床にあると考えています。とりわけ開業心理臨床では、臨床家一人一人が、自分自身の能力や開業実践の限界を厳しく見つめることが求められています。これは、真摯にクライアントに向き合う心理臨床家として、不可欠な姿勢であり、専門家としての倫理でもあります。また、自身の能力や開業実践の限界を見据えながら、クライアントの苦悩への援助として最適な方法を考えることは、開業臨床心理士の重要な職責です。

そこで今回のセミナーでは、「開業臨床にできること、できないこと」をテーマとして、心理臨床という営みを厳しい眼差しで自己点検し、極めていきたいと考えました。午前の部では、渡辺雄三先生に、引き受けること、引き受けないことの意味や大切さを含めて、「開業心理臨床において臨床心理士がすべきこと、すべきでないこと」についてテーマで基調講演をしていただきます。午後の部では、お二人の開業心理臨床家に、「開業臨床にできること、できないこと」について深く考えさせられた臨床素材のある局面について詳細に報告いただき、討論者とともにシビアな目線で開業臨床にできることと、できないことについて考えながら、その専門性を極めていきたいと思えます。

現在開業されている先生方や、将来開業を考えている先生方はもちろん、心理臨床に真摯に向き合い、考えたいと思う臨床家や大学院生のみなさんと、本質的、実践的、理論的、民主的な討論を通して、心理臨床を考える機会を持たせたいと考えております。学派を超えた多くの方々には是非参加していただきたいと思っています。

日 時 2016年2月11日(祝日・木曜日) 10時00分～16時15分

会 場 AP品川10階AB部屋(東京都港区高輪3-25-23京急第二ビル Tel03-5798-3109 品川駅～徒歩3分)

<プログラム>

※当協会会員は敬称略。

- 9:30 受付開始
- 10:00 開会の挨拶(当協会の紹介も含めて): 会長 鈴木 誠(くわな心理相談室)
午前の部; 基調講演 『開業心理臨床において臨床心理士がすべきこと、すべきでないこと』
講師 : 渡辺雄三(渡辺雄三分析心理室・人間環境大学)
司会 : 亀井敏彦(はこ心理教育研究所)
指定討論: 手束邦洋(手束心理言語臨床研究所・目白台心理相談室)
- 11:50 昼休み
- 12:50 午後の部「臨床素材を通じて『開業臨床にできること、できないこと-その専門性を極める』について考える」
臨床報告①日置千佳先生(あざみ野心理オフィス・目黒駅前メンタルクリニック)
『恐ろしくも得難い「開業」という仕事 ～パートタイム開業の冷や汗経験から』
司会 : 堀 恵子(ながら心理相談室)
討論者 : 栗原和彦(代々木心理相談室)
- 14:20 休憩
- 14:30 臨床報告②上田順一先生(大倉山子ども心理相談室)
『クライアントの自由な表明を受け入れること』
司会 : 早川すみ江(小泉心理相談室・日本福祉大学)
討論者 : 平井正三(御池心理療法センター)
- 16:00 閉会の挨拶 : 宮地幸雄(岐阜カウンセリング研究所)

参加資格・参加費：臨床に携わっている専門家(9,000円)、臨床系大学院生(6,000円)。

申込方法；参加を希望される方は、住所、氏名、所属、職種、臨床心理士資格の有無、パソコン・メールアドレス、電話番号を明記の上、事務局までパソコン・メールにてお申し込み下さい。仮受諾返信と共に参加費の振込先をお知らせします。定員(90名)に達し次第、締め切らせていただきます。日本臨床心理士認定協会への研修申請を予定しています。

Email: koizumi0@amber.plala.or.jp

※当協会へのご入会を検討されている方は、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。